

2026年最新

外国人採用で使える

助成金・補助金 完全リスト

特定技能・介護分野対応 | 神奈川・横浜エリア版

丸忠物産有限会社 人材事業部

2026年3月30日 発行

このレポートでわかること

外国人材の採用コストを最大100万円以上削減できる公的支援制度

- 国の助成金 4制度の金額・要件・申請の流れ
- 神奈川県・横浜エリア限定の補助金 2制度
- 介護分野に特化した支援制度
- 助成金を併用して最大限の効果を得る方法
- 申請のよくある失敗パターンと回避策

本レポートは2026年3月時点の情報に基づいています。
最新の金額・要件は各制度の公式サイトをご確認ください。

助成金・補助金 一覧サマリー

制度名	上限金額	特定技能対応	管轄
人材確保等支援助成金	最大72万円	○	厚生労働省
トライアル雇用助成金	最大12万円	○	厚生労働省
人材開発支援助成金	経費45～60%	○	厚生労働省
業務改善助成金	最大600万円	○	厚生労働省
神奈川県 高度外国人材受入支援	最大50万円/人	×	神奈川県
神奈川県 介護人材受入環境整備	最大20万円/施設	○	神奈川県
キャリアアップ助成金	最大80万円/人	× (1号対象外)	厚生労働省

1. 人材確保等支援助成金

外国人労働者就労環境整備助成コース

最大72万円（賃金要件あり）／ 57万円（要件なし）

対象となる取り組み

- 雇用労務責任者の選任（外国人労働者の相談窓口）
- 就業規則の多言語化
- 苦情・相談体制の整備（通訳配置、翻訳機器導入）
- 一時帰国のための休暇制度の整備
- 社内標識類の多言語化

支給要件

- 外国人労働者を雇用していること
- 計画書を事前に提出し、計画期間内に施策を実施
- 賃金要件：外国人労働者の基本賃金を5%以上引上げで上限72万円

2. トライアル雇用助成金

一般トライアルコース

月額4万円 × 最長3ヶ月 = 最大12万円

主な要件

- ハローワーク等の紹介により雇い入れること
- 原則3ヶ月のトライアル期間を設けること
- トライアル終了後の**常用雇用への移行**を目指すこと

こんな場合に使える

- 在日の外国人材（留学生からの在留資格変更等）を採用する場合
- 職業経験が少ない方を試行的に雇用する場合

ポイント：金額は小さいが、ハローワーク経由なら手軽に申請できる

3. 人材開発支援助成金

人材育成支援コース

訓練経費の45～60% + 賃金助成 760円/時間

外国人雇用での活用例

- **ビジネス日本語研修**（外部講師・スクール利用）
- **介護技術研修**（介護福祉士試験対策等）
- **ビルクリーニング技能検定対策研修**
- **安全衛生教育**（多言語対応）

注意点

- **訓練開始日の1ヶ月前までに計画届の提出が必要**
- **事後申請はできません**
- **10時間以上のOFF-JT訓練が対象**

外国人材の日本語教育・スキルアップ研修を外部委託するなら必ず検討

4. 業務改善助成金

事業場内最低賃金引上げ支援

最大600万円（引上げ額・人数による）

仕組み

事業場内の最低賃金を引き上げ + 生産性向上のための設備投資 → 投資額の一部を助成

対象となる設備投資の例

- 介護ロボット・リフト等の福祉用具導入
- 翻訳ツール・多言語コミュニケーションシステム
- 業務効率化のためのIT機器・ソフトウェア

中小企業の要件

- 事業場内最低賃金と地域別最低賃金の差が50円以内
- 引上げ額：30円、45円、60円、90円の4コース

5. 神奈川県 高度外国人材受入支援補助金

1人あたり最大50万円（1社3人まで / 補助率1/3）

対象

- 神奈川県内の**中小企業**
- **「技術・人文知識・国際業務」または「高度専門職」**の在留資格の外国人材を採用

対象経費

- 翻訳・通訳にかかる費用
- 在留資格申請の行政書士等への委託費
- 日本語教育・ビジネスマナー研修費
- 住居確保にかかる初期費用

注意： 特定技能は対象外。技人国・高度専門職のみ。
申請期間にもご注意ください（例年6月～翌2月）

6. 神奈川県 外国人介護人材受入施設環境整備事業費補助金

1施設あたり最大20万円（基準額30万円 × 補助率2/3）

対象

- 神奈川県内の介護事業所
- 外国人介護職員を受け入れる（または受け入れ予定）事業所

対象となる取り組み

- コミュニケーション支援（通訳配置、翻訳ツール導入）
- 介護業務マニュアルの多言語化
- 日本語学習支援・介護福祉士試験対策
- メンタルヘルスケア体制の整備

特定技能の介護人材受入れでも対象になります

注意！キャリアアップ助成金（正社員化コース）

特定技能1号は対象外です

キャリアアップ助成金の正社員化コース（有期→正規で最大80万円/人）は魅力的ですが：

- 特定技能1号 → ✖ 対象外（在留期間に上限5年があるため）
- 特定技能2号 → ✔ 対象
- 技術・人文知識・国際業務 → ✔ 対象
- 永住者・定住者 → ✔ 対象

つまり

特定技能1号の外国人材には、**人材確保等支援助成金**（最大72万円）を活用するのが最適解です。

介護施設の助成金活用モデルケース

3つの制度を併用して100万円以上の支援を獲得

Step 1：人材確保等支援助成金

多言語マニュアル作成＋通訳機器導入 → 最大72万円

Step 2：神奈川県 介護人材受入補助金

コミュニケーション支援＋研修実施 → 最大20万円

Step 3：人材開発支援助成金

介護福祉士試験対策＋日本語研修 → 経費の45～60%＋賃金助成

合計支援額のイメージ

制度	想定支援額
人材確保等支援助成金	57～72万円
神奈川県 介護環境整備	15～20万円
人材開発支援助成金	研修費の約半額
合計	100万円以上

これは介護施設の一例です。業種・規模により活用できる制度は異なります

申請の流れ（共通）

5つのステップ

ステップ	内容	目安期間
1	活用できる助成金の確認・リストアップ	1～2週間
2	計画書の作成・届出	2～4週間
3	施策の実施・証拠書類の保管	計画期間内
4	支給申請書の提出	期間終了後2ヶ月以内
5	審査・支給	2～6ヶ月

最重要ポイント：多くの助成金は **雇入れ前に計画届を提出** する必要があります。
採用を検討し始めた段階で、すぐに準備を始めてください。

よくある失敗パターンと回避策

✕ 失敗パターン	✓ 回避策
雇入れ後に計画届を出す（事後申請）	採用決定前に社労士に相談
提出期限を見落とす	カレンダーに期限を登録
就業規則が未整備	外国人雇用規程を事前に追加
領収書・契約書を紛失	日付順にファイリング+PDF化
労働保険料の滞納	申請前に納付状況を確認
1つの制度しか申請しない	複数制度の併用を必ず検討

申請手続きに不安がある場合は、**社会保険労務士**への依頼も有効です

まとめ

外国人材の採用コストは公的支援で大幅に削減できます

- 人材確保等支援助成金 → 最大72万円
- トライアル雇用 → 最大12万円
- 人材開発支援 → 経費の45～60%
- 業務改善助成金 → 最大600万円
- 神奈川県補助金 → 最大50万円/人 or 20万円/施設

「どの助成金が見えるかわからない」方は、お気軽にご相談ください。

丸忠物産にご相談ください

特定技能人材のご紹介から助成金の活用アドバイスまで

ワンストップでサポートします

メール: hr@maruchu-bussan.com



LINE友だち追加



無料面談予約

丸忠物産有限会社

〒231-0032 神奈川県横浜市中区不老町1-3-9 関内駅前ビル5階

有料職業紹介事業：14-ユ-302507 / 労働者派遣事業：派14-303784

本資料に記載の金額・要件は2026年3月時点の情報です。最新情報は厚生労働省・各自治体のウェブサイトをご確認ください。本資料の内容は一般的な情報提供を目的としており、個別の助成金申請に関する法的助言を構成するものではありません。